

平成28年度奈良県立医科大学医学部医学科
一般選抜（前期日程）学科試験受験者の皆様へ

平成28年3月2日

平成28年2月25日（木）に実施しました本学医学部医学科一般選抜（前期日程）学科試験において、以下のような出題ミスがありました。

7ページ「数学」【10】の問題において、本文2行目「点Dを直線BCに関して点Aと異なる側で $AD=6$ となるようにとる。」と記述されていますが、この条件では、点Dが正三角形ABCの外接円上に存在しないことになり、記載された図とは矛盾することになります。

そのため、「数学」【10】は問題として不適切と判断したため、当日の一般選抜試験（前期日程）学科試験受験者169名全員が正解したとみなし、採点しました。

受験者並びに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。さらに、今後は再発防止に最善を尽くす所存であります。

なお、合格発表は当初予定どおり3月8日（火）午後3時に行う予定です。

平成28年3月2日

奈良県立医科大学

【10】 一辺の長さが5である正三角形ABCとその外接円がある。図のように、点Dを直線BCに関して点Aと異なる側で $AD = 6$ となるようにとる。このとき、線分 $BD + CD$ の長さを求めよ。

